

科目名	長崎学Ⅱ			
科目番号	A-13	開講	講義名	担当教員
開設大学名	長崎大学(県内大学、短大、高専)	①	現代造船技術論	松岡 和彦 (長崎総合科学大学 工学部・教授)
開講場所	オンライン	②	長崎とキリシタン文化	金 成根 (長崎純心大学 人文学部・講師)
教養・専門の別	教 養	③	長崎観光の未来と大村湾観光圏	森尾 真之 (長崎国際大学 国際観光学科・准教授)
単位数	1単位	④	緊迫する東アジア情勢と古代の杵岐	堀江 潔 (佐世保工業高等専門学校 基幹教育科・教授)
開講期間	後期開講	⑤	長崎文化論Ⅱ	姫野 順一 (長崎外国語大学 学長)
曜日		⑥	子ども達に伝えたい長崎の民話	陣内 敦 (長崎短期大学 専攻科保育専攻・教授)
時 限		⑦	五島列島の文化的景観と地域再生	加藤 久雄 (鎮西学院大学 現代社会学部・教授)
開講時間	オンデマンド方式による受講	⑧	作ってみよう長崎の伝統野菜	鎌田英一郎 (長崎大学 教育学部・准教授)
授業定員	30人			
履修年次	1年次以上			
実習費等	なし			
選考方法	書類選考			
その他 特記事項				
試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価	代 表	大学コンソーシアム長崎事務局 TEL 095-819-2089 FAX 095-819-2185 長崎大学生涯教育センター 副センター長 酒井 友文	
連絡先	大学コンソーシアム長崎事務局 TEL 095-819-2089 FAX 095-819-2185			

(科目内容)

- ① 長崎の造船と重工業の発展について
- ② 1549年日本にキリスト教が伝えられた。半世紀後、日本で書かれた『伴天連記』に「日本にては長崎が良摩（ローマ）なり」と記されるほど、長崎はキリシタン文化が栄えていた。本講義では、長崎のキリシタン文化を理解し、その価値について考える。
- ③ 新しい時代に求められる長崎県の持続可能な観光を考えるうえで、現在進んでいる観光インフラ整備への訪問者の域内滞在の魅力として、自然が豊かで域外アクセスが集中する大村湾エリアの観光圏としての可能性について考える。
- ④ 大和政権が中国や朝鮮半島との外交交渉や戦争を円滑に遂行するにあたって、杵岐を舞台にして活躍した豪族・海人が果たした重要な役割について学ぶ。
- ⑤ 英語教育のはじまりについて
- ⑥ “地域を知る”をテーマに民話を子ども達に伝える活動をおこなっています。紙芝居や人形劇、絵軸の前での素話など、本学保育学科の学生と一緒に創作したもの、私が画家個人として作ったものなどを織り交ぜながらお話ししていきます。
- ⑦ 文化的景観とは、人の生活・生業と自然とが織りなす文化財です。五島列島の地域資源である文化的景観をフル活用した地域再生の試みとその意義について概説します。
- ⑧ 長崎県には江戸時代をはじめ古くから栽培されてきた「伝統野菜」があります。講義では長崎の伝統野菜また在来種について「栽培」の観点から学びます。また、地域の生産者を取り上げ、長崎における農林水産業についても紹介します。